

## 東日本大震災 被災地視察・学びのツアー

神戸女子大学家政学部 家政学科の上野 勝代教授の研究室では東日本大震災以降毎年、4年生のゼミ生が中心になって被災された方々に自分たちのできる支援はないかを考え活動を続けてきました。今年度は、家政学部から希望者を募り、夏休みに被災地を訪れ、震災について学ぶとともに、被災された方々の心に寄り添う『東日本大震災 被災地視察・学びのツアー』を実施しました。上野教授と同学科の来海 素存准教授、西本 由紀子助手と36名の学生が参加しました。

平成25年8月25日(日)から29日(木)の間に、福島県、宮城県、岩手県の被災地を訪問し、当時の状況や復興状況について学び、「お茶っこ飲み会」で小物づくりなどを行いながら現地の方との交流を深めました。

### 東日本大震災の被災者の方との絆

上野教授は毎年、新学期が始まると入学直後の学生に「住生活文化論」の授業で阪神・淡路大震災の事例を基に“住居の安全”の重要性を講義しています。

東日本大震災が起きた平成23年度は、従来の内容に加えて、阪神・淡路大震災の仮設住宅入居者の方に好評であったかまぼこ板を使った「表札」を「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」運営ボランティアの長岡 照子氏の指導のもとに作りました。

この授業で『かまぼこ板表札』作製の準備や作業のサポートをした上野ゼミの学生は、自らも表札を作り、学外、

学内の協力者を得て約200枚の『かまぼこ板表札』を仮設住宅にお住まいの方々に夏休みに直接届け、現地でも一緒に作る活動を行いました。さらにその後、他の仮設住宅へも約2千枚の表札を送りました。

平成24年度には、『かまぼこ板表札』を喜んでくださった陸前高田市小友町三日市の仮設住宅の方から要望のあった手作りの裁縫箱をプレゼントしました。

このような絆ができた仮設住宅の方々の心にさらに寄り添いたいという気持ちから今年度の『被災地視察・学びのツアー』は、計画されました。

### 被災地視察・学びのツアーの事前学習と準備



上野勝代教授による事前学習

平成25年5月17日(金)に宮城県出身の家政学部の瀬口 正晴教授が講師となり事前学習が開始されました。その後は、学外から「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」、福島県の「うつくしまNPOネットワーク」、「みちのく談話室」の方々に講師とする学習会と現地の活動に必要な小物作りの準備作業などで16回の集まりをもちました。

仮設住宅の集会所でお茶を飲みながら小物作りを一緒に行うというアイデアは、上野研究室の4年生のゼミ生7名が考えました。仮設住宅にお住まいの方々にアンケート調査をして、一緒に作製できる小物を選びました。また、希望のあったネイルアートも行うことを決めました。

参加者全員で、お土産にする小物と、現地の方と一緒に作りあげるため途中まで仕上げる小物に分けて作業に取り掛かりました。管理栄養士養成課程の学生は、クッキーをお土産にして現地では「ずんだもち」を作ることに決め準備を進めました。



準備をする学生と西本由紀子助手



お土産

学生の手作りクッキー



千代紙で作った瓜楊枝入れ



ネイルアートを希望される方に用意したサンプル



ティッシュケース



現地で仕上げた小物

コースター、うちわ、アクリルたわし、マグネット、髪飾り

## 被災地視察・学びのツアーの交流会

参加者全員が大学のチャーターしたバスで東日本に向かい予定の行事を行いました。

東日本大震災被災地視察・学びのツアー 行程 平成25年8月25日(日)～8月29日(木)

日程	ルート	行程	詳細
1日目 8月25日 (日)	神戸発 ↓ 福島	移動日 7時50分 集合須磨水族園前 8時00分 出発須磨水族園前 *朝食は済ませておくこと 北陸道経由⇒会津⇒宿泊先 19時頃 宿泊先到着 ふくしまの視察・学びツアー	大学で荷物の運び込み(7:30 担当者のみ)⇒須磨水族園(8:00) 出発⇒宿泊先着(19:00頃)
2日目 8月26日 (月)	↓ 仙台	8時00分 宿泊先出発 ⇒郡山⇒仮設住宅視察&被災者との交流会 ⇒飯館村⇒南相馬市(昼食)講話⇒ミニ交流会 ⇒沿岸部車窓視察 18時00分 宿泊先到着	宿泊先出発(8:00)⇒⇒郡山着(9:00)⇒⇒双葉町(視察・ミニ交流会)⇒⇒飯館村(12:00頃) [車中ゼミ]⇒⇒南相馬市小高地区 昼食 [NPO法人ほっと悠](障がい者福祉団体の運営する喫茶店 理事長講話(13:00頃)⇒ミニ交流会(NPO法人懸の森みどりファーム(被災地の酪農家)⇒⇒沿岸部車窓視察(16:00～17:00)⇒⇒仙台着(18:00)
3日目 8月27日 (火)	↓ 陸前高田	沿岸部の視察・学びツアー 7時30分 宿泊先出発 ⇒女川視察⇒石巻(大川小学校)⇒南三陸(防災庁舎)⇒気仙沼(昼食)⇒陸前高田(一本松) 19時00分 宿泊先到着	メルパルク仙台(7:30 出発)⇒⇒女川港 説明(9:00)⇒⇒石巻市大川小学校 降車見学(10:40)⇒⇒南三陸防災対策庁舎 降車見学(11:50)⇒⇒南三陸町さんさん商店街 昼食(12:10)⇒⇒気仙沼 語り部による案内(14:00)⇒⇒気仙沼お魚市場 買い物並びに休憩⇒⇒陸前高田 語り部による説明⇒⇒宿泊先到着(19:00)
4日目 8月28日 (水)	↓ 陸前高田	陸前高田 仮設住宅訪問 8時00分 宿泊先出発 午前、午後 グループごとに仮設訪問 被災者との交流&お茶会 20時00分 宿泊先到着	午前:仮設住宅6か所(グループごとに活動)⇒⇒サンビレッジ仮設住宅(昼食)⇒⇒午後:仮設住宅8か所(グループごとに活動)+1か所(お土産を渡す)⇒⇒住田町仮設見学⇒⇒宿泊先(20:00)
5日目 8月29日 (木)	↓ 神戸	移動日 6時30分 宿泊先出発 一関⇒北陸道経由⇒神戸 20時30分頃 水族館前到着	宿泊先出発⇒⇒須磨水族園前着(20:30頃)⇒⇒大学で荷物おろし(21:00頃)



気仙沼市中みなと町で津波に流された第18共徳丸の説明を受ける学生たち



仮設住宅での交流会の様子



ずんだもち作り

ずんだもち

## 報告会

二日間で約100名の学生と教職員が出席して学生の報告を傾聴しました。

**開催日時** 10月2日(水) 12:20～12:50 概要説明、地域ごとの視察結果の報告  
10月3日(木) 12:20～12:50 交流会の報告、「ずんだもち」作りとクッキー製作の報告、全体の活動報告



一日目の報告会では、代表の学生たちが訪問した被災地ごとに、復興の進んでいない状況を撮影した写真を提示して現状を説明し、現地で学んだ復興への課題を伝えました。また、災害への備えと、地震が起きた時の適切な判断と行動が、いかに重要であるか例を挙げて報告しました。

二日目は、上野研究室の4年生のゼミ生が、陸前高田市の仮設住宅で、グループに分かれて行った「お茶っこ飲み会」について発表しました。

「お茶っこ飲み会」は、学生と会話を交わしながら小物を仕上げる企画が、若者と話す機会が少ない被災者の方々に、手作りのお土産とともに予想以上に喜ばれたことなどを報告しました。そして、仮設住宅の方々が自分たちを暖かく迎えてくださって、震災

の体験や現在の生活などについて明るく語られる姿に、逆に励まされ、元気と勇気をいただいたと話しました。学生たちは、「かまぼこ板表札」が今も大事に飾られていることを聞き、仮設住宅を訪れて本当に良かったと感激しました。二日間の報告会は、被災地の現状を一人でも多くの人に伝えたいという学生たちの熱い思いがあふれていました。報告会の出席者は、「どんな経験をしても人に優しくできることは素敵なことだと思います」「生命の重さがわかりました」「家族の絆の大切さを感じました」という学生の言葉が印象に残りました。また、「東日本大震災のことを決して忘れない」「復興するために自分は何かができるのか考える」という感想をもちました。

## 観光ビジネス論の授業で地球一周客船を見学

平成25年10月14日(祝・月)に神戸女子短期大学総合生活学科の「観光ビジネス論」(中川 伸子教授)を履修している1年生41名が神戸港の中突堤(メリケンパーク)に寄港中の地球一周の客船「オーシャンドリーム号」の船内見学会に参加しました。

「観光ビジネス論」では、海外旅行が日常的なレジャーとして定着している現在、学生たちは、増加する海外への旅行者に必要な知識や常識を学び、世界の主要観光地や世界遺産の歴史や文化をグループで調べて発表しています。受講生は、出入国関係法令、CIQ(Customs, Immigration, Quarantine : 税関、出入国管理、検疫)についても学び、OAG(Official Airline Guide: 旅客定期 航空便時

刻表)やトーマスクック(ヨーロッパ鉄道時刻表)を見て理解できるようになることも授業の目標になっています。

この日は、ゆったり時間を過ごせる船による海外旅行の楽しみ方や世界一周旅行の様ざまなプランについて、ピースボート(注)のスタッフの方から説明を受け船内をグループに分かれて見学しました。

参加した学生たちは、地球一周という視点での海外旅行の関心が生まれ、観光ビジネスを学習する意欲が高まりました。

(注)ピースボート(PEACE BOAT)とは、1983年に設立された非営利の民間組織(NGO)で国際交流団体。地球一周をはじめとする「国際交流の船旅」を企画している。



デッキで港の風景を撮影



船内のフリースペースの見学



デッキで記念撮影

## ポアイ4大学図書館連携 スタンプラリー

ポアイ4大学の図書館では、4大学の学生が、お互いに他の連携大学の図書館を知る機会を設ける取組みとして、スタンプラリーを実施しています。

実施期間:平成25年9月19日(木)～平成26年3月31日(月)

参加希望の学生は、「ポアイ4大学図書館連携利用者証」を作成し、スタンプラリーカードを入手し、四つの大学図書館で本を借り返却時にスタンプを押してもらいます。スタンプが四つ集まったら、希望する大学図書館のお楽しみグッズを受け取ることができます。

それぞれの大学の図書館には、各大学の特色に沿った蔵書があります。連携している大学を訪問し、それぞれの大学の雰囲気を知るための絶好の機会となっています。



スタンプラリーのパンフレット

<p>ポアイ4大学連携図書館</p> <p>神戸学院大学ポアイ図書館 神戸夙川学院大学・夙川学院短期大学図書館 神戸女子大学・神戸女子短期大学図書館 兵庫医療大学附属図書館</p>
--



スタンプラリーカードを受け取る学生



2種類のスタンプラリーカード

